

平成24年度

事務事業評価表（平成23年度の実績評価）

記入年月日
平成 24 年 4 月 2 日

事務事業名		伝統的建造物群保存地区保存事業				区分		事務事業No.	30513516
						<input checked="" type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	16
		政策体系上の位置付け				<input checked="" type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	事務事業主管課	
政策体系	総合計画の施策名	305 文化財の保存・活用				<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化財課 35
	施策名	5	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	新規事業	<input checked="" type="checkbox"/>	継続事業
	基本事業名	1	文化財の保存			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業	<input checked="" type="checkbox"/>	補助事業
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	寺崎大貴
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/>	単年度のみ
	1	10	5	9	1	伝統的建造物群保存地区推進事業		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し（平成19年度～）
法令根拠	桜川市伝統的建造物群保存地区保存条例・施行規則・保存事業補助金交付要項					<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度（年度～年度）		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 ➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要（事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事務事業の内容】
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、保存地区内の修理・修景を進め、町並み環境を整備する。

【担当者が行う業務の手順】
伝建地区内で実施した修理・修景事業に補助金を交付する。

【事業費の内訳】
報償費、旅費、需用費、消耗品費、食糧費、印刷製本費、負担金・補助金等

(1) 事務事業の目的									
①手段(23年度 実際に行った主な活動)	修理事業(災害復旧)	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位					
			ア 説明会の実施回数	回					
			イ						
			ウ						
			エ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	・桜川市真壁伝統的建造物群保存地区 ・保存地区内の住民および建造物等	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位					
			ア 保存地区の面積	ha					
			イ 特定物件の数	件					
			ウ						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	伝統的建造物等を修理・修景する	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位					
			ア 保護措置件数	件					
			イ						
			ウ						
④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)	・伝統的な町並みが保存・整備される ・地区住民が町並みに誇りと愛着を持つ ・市民が真壁の町並みに誇りと愛着を持つ	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位					
			ア 文化財等を大切に、後生に伝承していくべきと思う市民の割合	%					
			イ						

(2) 指標値の推移									
区分	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	28年度 (目標)	
⑤活動指標	ア 回		5	5	5	5	5	5	
	イ								
	ウ								
	エ								
⑥対象指標	ア ha		18	18	18	18	18	22	
	イ 件		165	167	169	172	175	180	
	ウ								
⑦成果指標	ア 件		0	3	13	30	10	5	
	イ								
	ウ								
⑧上位成果指標	ア %	91.0	90.0	90.0	91.0	93.0	93.0	93.0	
	イ								

(3) 投入量(事業費)の推移										
投入量	事業費	国庫支出金	千円		4,000	185,500	258,500	20,000	20,000	期間限定 総投入量
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		使用料・手数料	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	402	2,120	5,138	117,703	117,868	10,000	
	事業費計(A)	千円	402	2,120	9,138	303,203	376,368	30,000	40,000	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	3	3	2
		延べ業務時間	時間	1,500	4,000	3,628	4,000	6,000	6,000	4,000
		人件費計(B)	千円	4,718	12,119	11,031	12,162	18,243	18,243	12,162
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,120	14,239	20,169	315,365	394,611	48,243	52,162	

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

町並み保存運動を背景に、平成11年度より登録文化財制度を積極活用し、町並み保存事業に着手した。
平成15年度から平成17年度にかけて伝統的建造物群保存対策調査を実施し、平成18年度に伝統的建造物群保存地区保存条例を制定。
平成19年度に伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し、平成21年度に伝統的建造物群保存地区制度を導入した。
平成22年6月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

修理・修景事業の早期着手。

事務事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業	事務事業No.	30513516	所属課	文化財課
-------	-----------------	---------	----------	-----	------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 古い町並み、伝統的建造物を活用した「住み良いまち・住み続けたいまち」の創出に寄与している。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) 伝統的建造物群保存地区の決定および運営は、住民と市町村とが行うこととなっている。 規制と補助を行う制度であるので、市町村が役割を果たさなければならない。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) 保存地区については将来的に拡充すべきものとして計画しており、状況が整い次第、隣接地区へも対象を拡大する。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) 保存会・審査制度を確立して、よりスムーズな制度運営を行う必要がある。 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない
有効性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 都市計画決定を行い、保存計画に規定した町並みの保存・整備事業であり、廃止できない。 修理の急がれる伝統的建造物が多く、事業を休止する状況にない。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 都市計画区域内における都市計画決定であり、都市計画部局との連携が不可欠である。都市計画部局の管轄する 景観計画に関する事業や、歴史的風致維持向上計画の実施に関する事業との連携も不可欠。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 修理・修景事業を開始したばかりであり、事業費削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?) 修理・修景事業を開始したばかりであり、削減の余地はない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) 伝建審議会で決定された内容をもとに地区の運営が行われるものであり、地区内に公正に適用される。 桜川市の誇り、また歴史・観光資源として広く市民に寄与し、公平である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成22年度は国の重伝建地区選定を受けた。 平成23年3月の震災に基大な被害を受け、災害復旧事業を開始した。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項